

# 北海道津別高等学校 令和3年度学校評価報告書

次のとおり令和3年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

(1) 学ぶ意欲を実感させる確かな学力の育成 (2) 自ら行動する力と実践的態度の育成 (3) 自己の進路実現に向け積極的に学ぶ態度の育成 (4) 保護者・地域と連携し、信頼される学校づくりの推進
---

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学ぶ意欲を実感させる確かな学力の育成 (学習指導)	新学習指導要領に対応した授業改善に向け、各教科でICT機器を使用した授業改善に積極的に取り組み、授業内容の工夫・改善については達成状況が良好であったが、更に有効活用に向け、外部研修会や、教務を中心とした校内研修の実施が必要である。	基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着が図られており、授業改善に向けた適切な取組がなされている。
改善方策	教育の改革時期であることから、未来プロジェクト委員会と教務を中心に教育課程実施についての検証と研修を進める。	
自らを律し、心豊かで規律ある生活態度の育成 (生徒指導) (健康安全)	必要に応じた分掌・学年会議が有効に開催されており、問題解決に向けた情報共有による生徒理解や、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底については達成状況が良好であるが、生徒の自主性や心を育てることを踏まえた学校行事や生徒会行事を計画することに課題がある。	基本的な生活習慣の定着とコミュニケーション能力の向上を目指した取組が適切になされている。 新型コロナウイルス感染症の影響から地域との交流が制限されているが、今後、回復に伴い改善されていくと考える。
改善方策	特別支援に関する教員全体のスキルアップに向け、講演や講座が受講できるよう計画を進める。	
自己の進路実現に向け、積極的に学ぶ態度の育成 (進路指導)	本年度も国公立大学への合格者を輩出し、進路指導については達成状況が良好であるが、本年度から実施されたT-baseの講習について、その活用方法や本校独自の講習の在り方について検証し、効果的で効率的な進学講習の実施に向けた検討が必要である。	一人ひとりの進路実現に向けて、意図的・計画的な学習指導や進路指導が充実している。
改善方策	キャリア教育の目標や各学年毎の目標を明確にし、指導内容や指導時期の精選等を検討する。	
家庭や地域と連携し、信頼される学校づくりの推進 (環境整備) (組織運営)	つべつ学を通して、地域との連携および協働による地域創生に向けた取組について達成状況が良好である。各分掌・学年の組織運営については、業務の偏りや業務内容の見直しなどチームでの話し合いを中心に、全教職員のアイデアにより働き方改革を進めていく必要がある。	高大連携への取組の中で、教育活動の活性化が推進されている。
改善方策	働き方改革をより進めることにより、自己研修の機運を高めることや、分掌間の連携の意識を高めることに努める。	
公表方法	学校ホームページへの掲載	